



鼠径ヘルニアに対するロボット支援手術導入

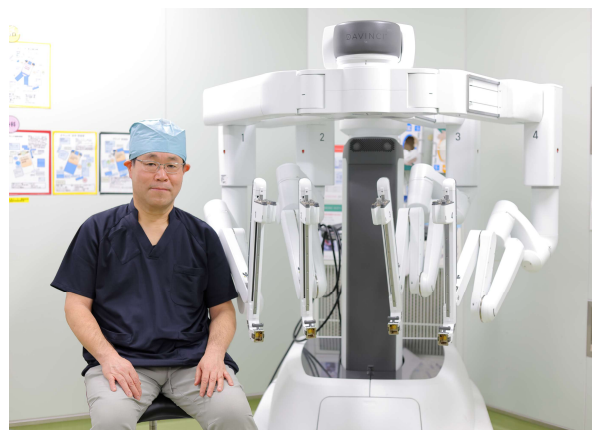
2026年6月に鼠径ヘルニアに対してロボット支援手術が保険収載されたことを受けて、当院でも鼠径ヘルニア手術のさらなる治療成績の向上を目指し、2026年7月にロボット支援下ヘルニア修復術を開始します。手術支援ロボットは高精細な3D視野で手術野を視認できるとともに、人の手の動きを凌駕する多関節機能を有する鉗子が使用でき、さらに手ぶれ補正機能により安定した精密な手術操作が可能となっており、従来の腹腔鏡手術を上回る繊細で合併症の少ない、より低侵襲な手術が期待できます。

鼠径ヘルニアは高齢者に頻度の高い疾患で、治療は唯一外科的治療のみです。現在では腹腔鏡を用いて、再発が少なく痛みが軽いということからメッシュと呼ばれる補強剤を用いて行う手術が広く普及しています。当院では年間100件以上の鼠径ヘルニア手術を施行し、その多くを腹腔鏡下に行っています。しかし、腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術は鉗子の可動性に制限があり、ヘルニアの大きさや患者さんの体型によっては難しいこともあります。ロボット支援下鼠径ヘルニア修復術は、さまざまなメリット有する手術支援ロボットを用いて行う鼠径ヘルニアを行う手術であり、従来の腹腔鏡下に行う鼠径ヘルニア修復術を上回る成績が期待されます。当院では本術式の導入にあたり、鼠径ヘルニアに対する腹腔鏡下手術に習熟するとともに、消化器がんに対するロボット支援手術を行っている医師が担当することで安全に行うことに配慮しております。

鼠径ヘルニアと診断された方で、当院のロボット支援鼠径ヘルニア手術の話を知りたい方は当院外来を受診いただければ、さらに詳しく説明させていただきます。これからも登録医の先生方を含む地域の諸先生方に、安心して患者さんを当院にお任せいただけるような外科を目指して、地域の皆様への貢献を一層深めていく所存です。



ロボット手術センターのページ



南大阪病院外科では24時間体制で外科疾患の診療行っております。

Tel : 06-6685-0221 (代表)

地域からよろこばれ、信頼される病院をめざします。

基本方針

- ・患者様の意思と権利を尊重し、十分な説明と納得と根拠に基づく医療を提供します。
- ・常に研鑽につとめ、安心、安全で質の高い医療を提供します。
- ・地域の中核病院として、他の医療機関との密接な連携をはかります。
- ・医療を通じて、社会貢献と職員の満足をはかるべく健全な財務体質を構築します。

南大阪病院ホームページのご案内

南大阪病院ホームページでは、病院からの大切なお知らせや各診療科の取り組み、専門外来まで当院のいまをお伝えしています。広報誌・年報のダウンロードも可能です。是非チェックしてください。



トップページ



外科・消化器外科



社会医療法人景岳会
南大阪病院

ホームページは
こちらから



受付時間

※日曜日・祝日は休診

平日 午前 8:30～12:00
午後 12:00～16:00

土曜日 午前 8:30～12:00

※曜日によって診療案内・時間が変わりますので、
詳しくは窓口および外来担当表でご確認ください。

住所 〒559-0012 大阪市住之江区東加賀屋 1-18-18

TEL 06-6685-0221 **FAX** 06-6685-5208



＼LINE始めました／

